

金沢婦人会連絡協へ
リサイクル協力感謝
北陸工ネ研
北陸グリーンエネルギー
研究会のアルミ付き紙パック
リサイクル品贈呈式は
19日、金沢市の石川県女性

センターで行われ、紙パッ
ク回収に協力した金沢市
校下婦人会連絡協議会にト
イレットペーパーを贈っ
た。
研究会の新広昭理事(金
沢星稜大教授)が謝辞を述
べ、協議会の能木場由紀子

会長に贈呈状とトイレッ
トペーパー70個を渡した。
研究会は環境ベンチャー
企業のアルハイテック(高
岡市)と連携し、紙パック
の包装紙などのアルミを使
って水素を発生させる技術
開発を行っている。

金沢星稜大の新広昭教授
(地域環境経済)が十九
日、金沢市内で開かれた講
演会で国連の「持続可能な
開発目標(SDGs)」の
普及をテーマに語った。ア
ルミ付き紙パックを回収
し、トイレットペーパーと
して再利用を進める北陸グ
リーンエネルギー研究会
(富山県高岡市)が主催し
た。
新教授は間仕切り製造の
コマニー(石川県小松市)
など北陸地方でSDGsの
実現に取り組む企業を紹
介。企業同士で連携が進む
可能性にふれ、「あなた方
もやっているなら一緒に」
といった形で取り組みが広
がっていくと見通しを示
した。環境関連の企業や自
治体、団体などの三十人が
聴講した。
研究会はメーカーや銀行
などでつくり、今年四月に
発足十周年を迎えた。紙パ
クの再利用事業はSDGs

ほくりく SDGs 最前線



SDGsをテーマに講演する金沢星稜大の新広昭教授＝金沢市で

取り組む企業を紹介

星稜大・新教授が講演会

分野別目標の「エネルギ
ーをみんなにそしてクリー
ンに」などに該当するとし
ている。(阿部竹虎)